

令和5年度 小平第二みどり作業所 事業計画書

1 はじめに

令和2年度以降、PDC Aサイクルの実施による利用者支援及び就労支援事業の充実を重点目標として掲げてきた。しかし、組織で目標が共有されず、共通の目的意識をもって業務にあたることが不十分となり十分な成果を上げることができなかった。目標に向けた具体的な道筋が示せなかったうえに、全体的に職員間のコミュニケーションが不足していたことが大きな反省点である。職員の定着率も数年低迷を続けており、目標実現のためのチーム形成が大きな課題である。令和4年度末より職員間のコミュニケーションの強化と課題の抽出に取り組み始めたところである。令和5年度は、これまでのマイナスの組織風土の原因検証をしっかりと行い、一つひとつ改善に向けて取り組むことで、重点目標の実現に向けて少しずつ進めていきたい。

2 事業概要

- 1) 施設名 小平第二みどり作業所
- 2) 事業種別 就労継続支援B型
- 3) 所在地 東京都小平市天神町3-7-16
- 4) 経営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 40名
- 6) 利用現員 50名(令和5年4月1日現在)
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年4月1日
- 9) 職員 15名(令和5年4月1日現在)

管理者	1名	常勤1
サービス管理責任者	1名	常勤1
職業指導員	3名	(常勤換算3.0)
生活支援員	9名	(常勤換算6.7)
目標工賃達成指導員	1名	常勤1

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
安心と希望の持てる生活

4 基本方針

1) 就労支援

- ① 利用者の個々の特性にあった就労支援事業の活性化
- ② 生き生きと働ける職場
- ③ 職業指導の充実
- ④ 賃金の保障
- ⑤ 就労移行支援の実施

2) 生活支援

- ① 日中活動の支援
- ② 豊かな生活の支援
- ③ 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
- ④ 個別支援計画に基づいた計画的な支援
- ⑤ 利用者への相談支援
- ⑥ 安心できる将来への支援

5 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- ① クッキー製造・販売
- ② パン製造・販売
- ③ 公園清掃
- ④ マンション清掃
- ⑤ 受注作業（ポーロ袋詰め作業等）

2) 生活支援事業

- ① 夕方生活支援事業（利用者の余暇支援事業）
※コロナウイルス感染症が落ち着いたら、以下のことを行う。
- ② 音楽教室（月2回実施）
- ③ 生活支援プログラム（プール、ウォーキング）

3) 行事

4月	利用者永年勤続表彰式
5月	運動会
6月	レクリエーション
7月	レクリエーション
8月	川遊び
9月	レクリエーション
10月	一泊旅行
11月	レクリエーション
12月	忘年会
1月	レクリエーション
2月	レクリエーション
3月	レクリエーション

6 日 課

開所・送迎・清掃	8:30～9:00
朝礼	9:15～9:30
作業	9:30～10:30
休憩	10:30～10:45
作業	10:45～11:45
片付け	11:45～12:00
昼休み	12:00～13:00
昼礼	13:00～13:15
作業	13:15～14:15
休憩	14:15～14:30
作業	14:30～15:30
終礼	15:30～15:50
送迎	15:50～16:30
清掃・記録等	16:30～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

7 重点課題・目標

1) 活動

(1) PDCAサイクルの実施による利用者支援の充実

- ①長期目標、短期目標、支援上の重点との関連付けを整理し個別支援計画を作成する。
(計画作成、評価において、職員間の情報及び意見交換を活発に行い、計画に活かす。)
- ②支援方針、支援目標や目的を全職員で共有する。
- ③個別支援計画に基づいた統一した支援を行い、支援経過を共有するとともに丁寧に記録し、それに基づいた評価、見直しを実施する。

(2) 就労支援事業の充実

- ①作業指導の充実や自分に合った仕事の提供により、やりがいのある仕事を通じて利用者一人ひとりが職業人として成長する。
- ②職員の担当を重層的にする(各職員が複数の業務に関わり技能等を習得する)ことで、各作業が中長期的に安定して行える体制を作る。
 - ・新規採用職員の全作業への配置。
 - ・パン及びクッキー作業担当職員の定期的な配置の交換。
- ③パン、クッキー製造など一定の技能が必要な作業については、定期的(担当全職員月2回)な練習により職員の技能向上を図る。
- ④①～③の実践により工賃向上を行う。

	令和4年度実績(見込)	令和5年度目標
月額平均工賃	11,800円	12,300円
※ 令和5年2月末月額平均工賃	10,834円	

⑤各作業における戦略と目標

ア、クッキー製造作業

- ・職員配置1日平均4名(クッキー事業リーダー1名、パン事業リーダー1名、新規採用職員3名、その他3名の計8名のローテーションを作成)
- ・注文販売先の現状維持及びイベント販売への対応強化(製造能力向上)
- ・目標

	令和4年度実績(見込)	令和5年度目標
年間製造個数	29,600個	30,800個
年間売上	4,900,000円	5,100,000円
※ 令和5年1月末	製造個数 25,600個、	売上4,200,000円

イ、パン製造作業

- ・職員配置1日平均4名(クッキー事業リーダー1名、パン事業リーダー1名、新規採用職員3名、その他3名の計8名のローテーションを作成)
- ・新商品の開発(12種類)
- ・商品ロスの削減(店舗の売れ残り商品を出張販売にて販売する)
- ・目標

	令和4年度実績(見込)	令和5年度目標
年間製造個数	22,400個	23,000個
年間売上	2,960,000円	3,040,000円
※ 令和5年1月末	製造個数 18,400個、	売上2,460,000円

③その他の作業を含めた収入目標

	令和5年度目標 (円)	令和4年度実績 (見込)	差額
クッキー製造事業	510万	490万	20万円
パン製造事業収入	304万	296万	8万円
清掃作業収入	163万	163万	0
受注作業収入	10万	10万	0
その他作業等	7万	7万	0
合 計	994万	966万	28万円

2) 人材確保と育成

- (1) 常勤換算12.8名(管理者、サビ管含む)の職員体制の安定確保
(これまで運転業務ができない職員が多く、外出作業ができる職員が限定されていた。)
- (2) 職員の複数担当制による相互補完体制の強化
 - ① 自動車運転業務が可能な職員の増員
 - ② 各職員が複数の作業に従事する仕組みを作る
- (3) 職員間の連携強化
- (4) 利用者との関係性の構築
- (5) 利用者支援スキルの向上

3) 経営管理

- (1) 訓練等給付費の安定確保
1日平均利用者40人(50人在籍利用率80%)を目標とし、利用者の安定通所を図る。
(令和4年度2月末実績:1日平均利用者38.5人、48人在籍—令和5年2月末現在。)
- (2) 月次試算による経営状態の把握
毎月の月次試算の分析を丁寧に行い、予算執行を計画的に行う。
- (3) コスト削減
節電節水節約に務めコストの削減を行う。

8 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

9 健康管理

- 1) 新型コロナウイルス感染症等の感染症対策を徹底する。
- 2) 定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健師等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。

10 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年3回実施する。

総指揮 管理者

連絡担当 職業指導員および生活支援員

救助担当 職業指導員および生活支援員

11 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。